

# 山正ニュース

株式会社 山 正		
本社・緑化部	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4468
岐阜営業所	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4466
可児営業所	可児市川合塚越345-1	Tel <0574>62-5228
富山営業所	富山県射水市大江207-1	Tel <0766>55-3882
飛騨営業所	高山国府町857-2	Tel <0577>72-4466

2013年7月号 (通巻50号)

## § 1 エールを送りたい二兎を追うコメ作り

～これからは稲の活力を落とさない管理が決め手！～

近年は高温傾向の夏が続いており、稲にとっては厳しい気象条件の中での栽培となっている。このほど気象庁が発表した長期予報では、東海・北陸地方とも7～8月の気温は、平年並みとなる確率および高くなるとする確率がそれぞれ40%となっており、酷暑の夏になるとは予想されていないものの、平均気温は平年並み若しくは高めに推移するものと思われる。したがって、今後は、高温条件の中で生育が経過することを十分に想定した栽培管理が重要になるものと思われます。

### ◎米作りの課題

酷暑の夏は、気温が著しく高いばかりでなく、少雨傾向も伴います。さらに北陸地方では、フェーン気象条件を伴う事も多く、極めて厳しい条件の中で出穂と登熟を迎えることとなります。このような状況を反映し、近年は品質の面でかなり苦戦を強いられていることは否めません。穀物検定協会による食味評価によれば、下図のように、富山は過去11年間、岐阜は17年間特A評価から遠ざかっています。したがって、品質・食味ともに評価の高い米作りが求められているといえます。

特A評価の推移 (日本穀物検定協会による)

県・地区	品 種	年 産																							
		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
富山*	コシヒカリ			◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎												
岐阜・美濃	ハツシモ						◎	◎																	

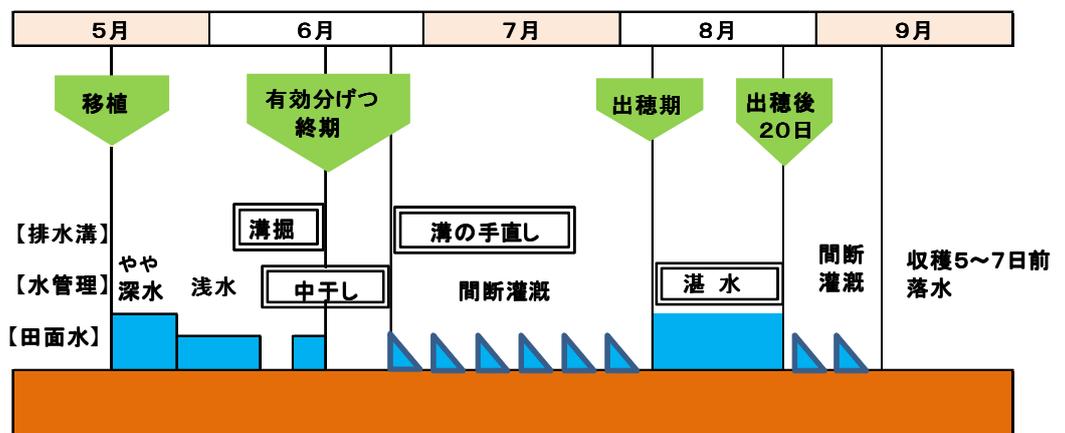
※ 平成11～13年：県西部産      その他はの年次は全県標記

### ◎稲の根の活力を落とさない管理の基本は水管理！

暑い夏を乗り切るためには、稲に十分な体力が備わっていることが必要です。この体力維持に重要な役割を果たすのが水管理ですが、そのイメージを右図に示しました。

図はコシヒカリを例にしたものですが、これからは中干し後の溝を手直して出穂期まで田面に水が無くなったなら通水するという、いわゆる“**間断灌溉**”を徹底して根の活力を維持するのが基本です (次ページへ続く)。

#### 水管理のイメージ



平成25年度水稻・大豆・大麦栽培技術指針を参考に改変作図



株式会社山正は、農薬・肥料・園芸ハウス・農業資材等の販売や、それに伴う農地・緑地・街路樹等のメンテナンス業務を通じ、地域農業や地域の環境緑地化への貢献を目指しています。



さらに、出穂後20日間は湛水し、その後さらに刈り取りの1週間ぐらい前まで“間断灌溉”を繰り返すようにします。近年は、コンバインによる収穫が困難になることを心配して収穫前の落水が早まる傾向となっていることも品質低下につながっていると指摘されています。

いずれにしても、稲の活力を稲作後半まで維持する決め手は稲の生態に応じた水管理にあることは間違いのないところです。したがって、今年も過酷な条件の中で稲が登熟していくことを想定し、きめ細かな水管理によって、収量と品質のいわゆる“二兎を追う”安定した米作りにつなげていただきたいと思います。

## § 2 山正ニュース、今月号で通巻50号に！

2009年（平成21年）6月に第1号を発刊した「山正ニュース」が今月号で通巻50号に達しました。通巻31号～50号の内容は以下のとおりです。今後とも利用価値の高いものを目指して発行を継続していきますので、忌憚のないご意見などをお寄せいただきたいと思います。（なお、通巻1号～30号の内容は、30号に掲載してありますので参照下さい）

通 巻	タ イ ト ル
31号	§ 1；今年度多発傾向にあった病害虫と次年度対応～斑点米カメムシ類や野菜類の病害虫に万全の対応を！！～
32号	新年ご挨拶 2012年のはじまりにあたり；代表取締役 § 1；2012年産米の目標数量決まる～富山は微増の19万6千トン 岐阜は微減の12万トン
33号	§ 1；松枯れ（松くい虫）予防に「マッケンジー」！！～松枯れ予防の樹幹注入剤にアンプルではない薬剤が新登場～ 囲み記事（※）
34号	§ 1；日本芝に発生するスズメノカタビラについて～近年グラグラ発生する系統が増加、新たな対応が必要に～ § 2；ブドウべと病に対する耐性菌情報（※）
35号	§ 1；水稻の除草剤を上手に効かせるために～圃場の条件に応じた除草剤の選択と、適切な水管理が大切！～
36号	§ 1；これから処理する水田除草剤の留意点！！～業態を確かめ、時期を失しないようにすることが大切 § 2；今年のケヤキの芽吹きに要注目（※）
37号	§ 1；侵入病害、ウリ科野菜果実汚斑細菌病注意情報～わが国への侵入と定着防止に万全を期すことが重要！！～ § 2；取りこぼしの雑草対策（※）
38号	§ 1 農業教育に新たな動き！！～産業界主導の農業大学校や私大農学部の新設～ § 2；水稻後半期の病害虫防除対策～粒剤で効率的・確実な防除を！！～
39号	§ 1；「農業シンポジウムin岐阜」が開催される～弊社が開催地事務局として運営を全面的にサポートし、盛会裡に終了～ § 2；秋植え野菜の病害虫防除対策（※）
40号	§ 1；水稻刈跡の防除対策について～刈跡に使用できる除草剤で来年の米作りをスムーズに！！～ § 2；読み物病害記③多犯性リゾクトニア菌の話（※）
41号	§ 1；農水省が平成24年産水稻の作柄概況を公表～岐阜、富山ともに作況指数100の「平年並み」となる～ § 2；コメについて考える③（※）
42号	§ 1；今からできる水田畦畔や非農耕地の雑草対策～長期間効果が持続する「カソロン粒剤6.7」の年内散布がおすすめ！！～ § 2；読み物病害記④（※）
43号	§ 1；病害虫と雑草の発生状況を振り返る～病害虫ではカメムシ類が多発傾向、雑草では依然として取りこぼしが目立つ！！～ § 2；注意報が発表された・・・（※）
44号	新年ご挨拶 2013年のはじまりにあたり；代表取締役 § 1；コメについて考える④～注目していきたい新たな動き、守っていききたい国内生産！！～
45号	§ 1；バイオメジャーの戦略展開動向～種子・農業市場の成り立ちと高付加価値化による新たなビジネスモデル～ § 2；国内産種子の現状と今後の動向（※）
46号	§ 1；雑草について考える～多様な生き残り戦略を獲得した雑草を、耕種防除や化学防除を組み合わせ総合的に管理することも重要～
47号	§ 1；水稻の除草剤を上手に効かせるために～圃場の条件に応じた除草剤の選択と、適切な水管理が大切！～
48号	§ 1；企業の農業参入事例の紹介～ゴルフ場経営企業が別会社を設立し、企業ならではの農業生産を展開～
49号	§ 1；取りこぼしの雑草対策～収穫期にヒエや悪草を残さないために～
50号	§ 1；エールを送りたい二兎を追うコメ作り～これからは稲の活力を落とさない管理が決め手！ § 2；山正ニュース、今月号で通巻50号に！

（※；タイトルが長いので書き切れなかったものを示す。内容は記載の号を参照のこと）

通巻1～7号（2009年6月～12月） 8～19号（2010年1月～12月） 20～30号（2011年1月～11月）

通巻31～40号（2011年12月～2012年9月） 41～50号（2012年10月～2013年7月）

§ 1 エールを送りたい二兎を追うコメ作り

～これからは稲の活力を落とさない管理が決め手！（名畑技術顧問）・・・・・・1～2ページ

§ 2 山正ニュース、今月号で通巻50号に！

（名畑技術顧問）・・・・・・2ページ